

学びふれあい 心豊かに

生涯学習

生涯学習課 ☎43-3383
田沢湖公民館 ☎43-1061
角館公民館 ☎54-1110
西木公民館 ☎47-3100

お知らせ

応募締切迫る！

平成31年度 仙北市民大学 新規入学者募集

仙北市民大学の平成31年度新規入学者の応募締切が間近となっております。
募集学科など詳細については、広報3月1日号生涯学習のページ（16ページ）や最寄りの公民館にある申込書でご確認いただくか、仙北市民大学事務局へお問い合わせください。

- 参加対象／仙北市民
- 募集学科／郷土研究学科、園芸学科、書道学科、陶芸学科、社会学科
- 申込期限／3月20日（水）
- 問合せ／仙北市民大学事務局（角館公民館内）

生涯学習活動紹介

ちよつと苦戦…

初心者向け エコクラフト教室

1月16日から4回に渡り、エコクラフト教室が、西木公民館を会場に開催されました。
講師に荒木和子さんを迎え、初心者向けに基礎からエコクラフトについて教わりました。

教室では、裏側で紐を交差させ、表面は石畳のような模様仕上がる「石畳編み」でバッグや小物入れを作りました。期間中に作品を完成することができなかつた参加者もいて、「自宅で完成させられるよう頑張りたい」という声も聞かれました。



きれいな石畳模様できました。

よい香りの石鹸の花

大人のソープレーパー カービング教室

2月21日に角館公民館で、「大人のソープレーパーカービング教室」が開催されました。

講師に黒澤美鈴さんを迎え、初めての方でも取り組みやすい「ダリア」を作りました。装飾的な彫刻を施した作品はともきれいでかわいらしく、さらには、香りもよく長い間楽しめる。教室は和気あいあいとした雰囲気で行われ、参加者からは「また作ってみたい」と大好評でした。
角館公民館では、来年度も「大人のソープレーパーカービング教室」を開催する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。



きれいで可愛い香り。



細かい模様付けに真剣に取り組んでいます。

一緒に始めませんか？

アート盆栽教室



春を待ちわびて…まもなく桜が完成します。

限りなく本物に近く魅力的なアート盆栽は、非常に繊細で、1つの作品を完成させるまで大変な時間と手間を要しますが、完成した作品は非常に素晴らしく、いつまでも飽きずに見ていられる逸品です。サークルの皆さんは、「パークのカットなど細かい作業が多く、目や肩が非常に疲れますが、完成したときの達成感が最高です」と話していました。

昨年5月7月に行ったアート盆栽教室が終了してから、もつと続けて様々な作品に挑戦したいという受講者の皆さんの要望が多く、教室名をそのままに現在も自主学習サークルとして活動しています。
サークルのメンバーを随時募集しています。興味のある方は、田沢湖公民館までご連絡ください。

- 日時／隔週金曜日 13時30分～
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 問合せ／田沢湖公民館

またうら

心豊かな教育文化のまち

《仙北市民教育委員会だより》

第89号

角館小 弁当の日

2月1日、角館小学校で弁当の日として、5年生と6年生が自作の弁当を持ち寄りました。
角館小学校では、食について家族で共に考える機会とし、感謝の思いを高めることを目的に「弁当の日」を昨年の1月から実施し、今回で5回目になります。

6年生は通算で3回目となり、前の日から準備を始めた日、自分の好きなおかずを多くしたり、愛用のドラえもん弁当箱に入れてきたりと、これまでの経験を生かして、楽しみながら作っていました。

5年生は初めての弁当作りでしたが、自分でよく考え、丹精込めて作ることができました。宮崎凛さんは「そぼろを作るのは大変だったが、肉巻きソーセージを作るのが楽しかった」と上手に作った弁当を満足げに食べていました。また、熊谷榎ノ葉さんは「にんじんやインゲンなどの肉巻きは



笑顔で渾身の自作弁当を見せてくれました。

難しかったけど、よくできた」と話してくれました。
弁当作りの大変さを実感することで、これまで以上に家族への感謝や、食事の大切さを感じる機会となりました。

神代小 雪と楽しむ会

2月15日、神代小学校で冬の児童集会「雪と楽しむ会」が行われました。

集会は、保健体育委員会の児童たち自身が、準備や企画、当日の進行を行いました。
始めに今日の集会で楽しみなことを発表しました。4年生の小林茂輝さんは、「初めてやる綱引きが、どんな綱引きになるのかとても楽しみです」と話し、同じく4年生の石川才稀さんは、「バケツ落としが楽しみ。雪玉を投げるのは得

意ではないけれど、協力して「頑張りたい」と話しました。
雪だるまの頭に乘せたバケツを雪球で落とす「バケツ落とし」では、なかなか当たらず苦労する班が多い中、最初の1投であつたという間に落ちてしまった班があり、みんな驚いていました。次の雪上での綱引きは、雪のため足下が滑り、みんなが倒れてしまう場面もありましたが、声や力を合わせて頑張っていました。最後の6年生対下級生のサバイバ



足下が悪い中、懸命に綱を引く児童たち。

西明寺中 にしき園へ福祉用具を寄贈

2月18日、西明寺中学校で、西明寺地区にある介護老人保健施設にしき園への福祉用具贈呈式が行われました。

寄贈されたのは車いす用のクッションで、学校祭での収益金とアルミ缶・古紙の回収活動での収益金で購入したものです。
贈呈式では、全校生徒を代表して2年生の門脇時男さんが「西明寺中学校は地域に愛される学校を目指しています。日頃お世話になっている

地域への感謝の気持ちを込めて贈呈します」と話しました。
受け取ったにしき園の山田且也事務長は「毎年、施設の利用者や入所者は大変喜んでいて、車いすの利用者が増えています。とてもありがたいです。この後も地域のために尽くしてください」と感謝の言葉を述べました。

全校生徒の頑張りが形となったクッションを喜んで使ってもらえると聞いて、生徒たちも、とても喜んでいました。



にしき園にたくさんのクッションが寄贈されました。左からにしき園の山田事務長、生徒会長の佐藤晃一さん(2年)、生徒会副会長の鈴木未来さん(2年)。

生徒たちの来年度の活動が更に盛り上がりそうです。